

| | | | |
|---------|--------------------|-----|------|
| 科目（講座名） | 数学B | 2単位 | 自由選択 |
| 教科書 | 数学B Standard（東京書籍） | | |
| 副教材 | W I D E 数学B（東京書籍） | | |

学習の目標

数列、ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

授業内容

| | |
|---------------|---|
| 1章 数列 | |
| 1節 数列 | 1. 数列 2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和 |
| 2節 いろいろな数列 | 1. 数列の和と記号 Σ 2. 階差数列と数列の和 3. いろいろな数列 |
| 3節 漸化式と数学的帰納法 | 1. 漸化式 2. 数学的帰納法 |
| 2章 ベクトル | |
| 1節 平面上のベクトル | 1. 有向線分とベクトル 2. ベクトルの加法・減法・実数倍 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 |
| 2節 ベクトルの応用 | 1. 位置ベクトル 2. ベクトルの図形への応用 3. ベクトル方程式 |
| 3節 空間におけるベクトル | 1. 空間座標 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの内積 4. 位置ベクトルと空間の図形 |

学習方法

受験を念頭に、生徒の理解に合わせて木目細かい教科指導を行っていく。「例」や「例題」の解説、「問」や各節末の「Training」及び各章末の「Level Up」などで、問題演習を行い、学習事項を確認する。また、副教材、プリント等で補足の学習を行う。

評価の観点

| | |
|------------|--|
| 関心・意欲・態度 | 数学的活動を通して数列、ベクトルにおける考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。 |
| 数学的な見方や考え方 | 数学的活動を通して数列、ベクトルにおける数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。 |
| 表現・処理 | 数列、ベクトルにおいて、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決する。 |
| 知識・理解 | 数列、ベクトルにおける基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。 |

評価方法

年4回の定期考査を中心に、課題テスト、課題等の提出状況及びその内容、日頃の学習態度等を年間を通して総合的に判断し、評価する。

年間計画

| 学期 | 月 | 配当時間 | 単元 | 学習内容 | 学習上の留意点 |
|----|---------------------|------|--------------------------|--|---|
| 1 | 4 5 6 7 | 24 | 1章 数列 | 1節 数列 1. 数列 2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和 2節 いろいろな数列 1. 数列の和と記号 Σ 2. 階差数列と数列の和 3. いろいろな数列 3節 漸化式と数学的帰納法 1. 漸化式 2. 数学的帰納法 | 等差数列、等比数列の一般項とその和について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できるようにする。 和の記号 Σ を用いて数列の一般項や和を求めたり、漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できるようにする。 |
| 2 | 9 10 11 12 | 26 | 第2章 ベクトル 総合演習 | 1節 平面上のベクトル 1. 有向線分とベクトル 2. ベクトルの加法・減法・実数倍 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 2節 ベクトルの応用 1. 位置ベクトル 2. ベクトルの図形への応用 3. ベクトル方程式 3節 空間におけるベクトル 1. 空間座標 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの内積 4. 位置ベクトルと空間の図形 | ベクトルについての基本的な概念を理解し、基本的な図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。 数列とベクトルの総合演習をして、入試問題に取り組めるようにする |
| 3 | 1 2 3 | 16 | 総合演習 | 1. 数列 2. ベクトル | |

| | | | | |
|---------|------------------------------|--|------|------|
| 科目（講座名） | 化学α | | 4単位 | 必修選択 |
| 教科書 | 化学（啓林館） | | 担当教諭 | |
| 副教材 | 「セミナー化学基礎+化学」（第一学習社） | | | |

学習の目標

物質の構造と反応を理解し、化学的な事物や現象に関する探究活動を実践することにより、化学的な見方、および考え方を養うとともに、科学の発展・科学技術の進歩を体系的に捉え、日常生活とのかかわりについて理解を深める。

センター試験、二次試験に向けた実践力を養う。

授業内容

「芳香族化合物」、「生活と有機化合物」、「高分子化合物」「無機物質」の各分野に関する内容について、講義、問題演習、実験を行う。また、化学の内容全体について主に問題集を用いての演習を行う。

学習方法

- ・教科書やプリントを用いて、基本的な知識や概念を確認する。
- ・問題集演習や小テストによる反復練習により、確かな学力を身に付ける。
- ・大学入試問題を演習し、応用力、実践力を養う。

評価の観点

| | |
|------------|--|
| 関心・意欲・態度 | 化学的な事物・現象に関心、探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとする。 |
| 科学的な見方・考え方 | 化学的な事物・現象の問題点を見だし、演繹的・帰納的に考え、分析し、科学的に検討・判断する。 |
| 表現・処理 | 化学的な事物・現象に問題点を言語化したり、観察や実験をして記録する体験をしたり、その結果を基に結論を主張したりする。 |
| 知識・理解 | 化学的な事物・現象について、基本的な観念や原理・法則を理解したり、知識を身につけたりする。 |

評価方法

定期考査、小テスト、提出物、出席状況、授業への取り組み等を総合的に判断し、評価を行う。

年間計画

| 学期 | 月 | 配当時間 | 単元 | 学習内容 | 学習上の留意点 | | | |
|----|--------|------|----------|-------------------------------|---|---|---|--|
| 1 | 4 | 14 | 芳香族化合物 | 構造式の略記法 | ベンゼン環の略記法を基に、脂肪族炭化水素の略記法についても扱う 共役二重結合をもつ構造として理解させる | | | |
| | | 5 | | 12 | | ベンゼン ベンゼンの置換基、置換法 | 置換反応の代表例を覚え、芳香族化合物の系統図を覚える基礎とする | |
| | | 6 | | 17 | | 酸素を含む芳香族化合物及びその製法 窒素を含む芳香族化合物 芳香族化合物の分離 | 酸性芳香族化合物としての視点を根底にして脂肪族化合物との相違にも注目し、系統的に理解する 身近な性質をもつ芳香族化合物をしての視点にも触れる 官能基の違いに注目し、抽出による分離法を系統的に理解する | |
| | 7 | 5 | 天然高分子化合物 | 糖類 タンパク質 核酸 | グルコースの構造を覚え、それを基にデンプン、セルロースを理解する アミノ酸の名称と構造を覚え、それを基にタンパク質の四次構造まで理解する リボースの構造と5種の構成塩基の構造を基に理解する | | | |
| 2 | 9 | 8 | 合成高分子化合物 | 重合 合成繊維 プラスチック・樹脂 ゴム | 付加重合・縮合重合の差異と重合度、分子量を扱う ナイロン、ポリエステル、アクリル、ビニロンを扱う 四大プラスチックの名称と構造を覚え、熱硬化性樹脂の特徴を理解する ブタジエンの名称と構造を覚え、天然ゴム、共重合を理解する | | | |
| | | 10 | | 15 | | 繊維 機能性高分子化合物 | 再生繊維、半合成繊維の名称と構造を覚える 機能性の原理を理解する。またプラスチックリサイクルの現状を知る | |
| | | | | | | 無機化合物 | 周期表 非金属元素 金属元素 | 酸化物等と周期表を関連させる 気体を基本に、液体・固体を系統的に扱う 典型金属元を、周期表を基に扱う 遷移元素を、銅を基に扱う |
| | | 11 | | 14 | | 生活と無機物質 | 金属の利用、セラミックスの利用として扱う | |
| | | 12 | 11 | 演習 | 問題演習 | 大学入学共通テストを目標とする | | |
| 3 | 1 2 | 4 | 演習 | 問題演習 | 大学入学共通テストを目標とする | | | |

| | | | |
|---------|--------------------------------|------|------|
| 科目（講座名） | コミュニケーション英語Ⅱ （英語発展） | 2単位 | 必修選択 |
| 副教材 | SKYWARD・CLOUDS〔桐原書店〕 | 担当教諭 | |

学習の目標

- ・幅広いジャンルの英文を読むことにより大学入試標準レベルの長文読解力を養う。
- ・限られた時間に文章の大意を把握する力を養う。
- ・和文解析→語順整理をすることで英文法を定着させながら、英作文ができるようにする。

授業内容

- ・辞書を使わないで英文を速読した後、長文読解問題を解くことで、段落展開の確認、トピックセンテンスの確認をする。スキミング、スキヤニングの力を養う。読む速度（WPM）も意識させる。
- ・「構文・語彙」など、入試の設問になりやすい部分と、内容理解のポイントとなる部分に焦点をあてて、解説をする。
- ・英作文のプロセスを学び、必要な文法事項をふまえて、作文をする。

学習方法

- ・予習で、分からない単語・語句の意味や発音を調べる。
- ・復習として再度文章を音読し、内容説明や大意要約をする。
- ・英作文は予習をし、疑問点を整理して授業に臨む。

評価の観点

| | |
|-----------------|---|
| 関心・意欲・態度 | コミュニケーションに関心を持ち、英語を読む言語活動を積極的に行い、コミュニケーションを図ろうとする。 |
| 表現の能力 | 文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように効果的に音読するなどして表現する。 |
| 理解の能力 | 英語を読むことの学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 |
| 言語や文化についての知識・理解 | 語を読むことの学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 |

評価方法

中間・期末考査の成績、授業へ取り組む姿勢、課題の提出状況、出席状況などをもとに総合的に評価する。なお、年間の評価は、1学期・2学期・3学期の成績から総合的に判断する。（いずれも、絶対・相対を加味した5段階評価）

年間計画

| 学期 | 月 | 配当 時間 | 単元 | 学習内容 | 学習上の留意点 |
|----|----|-------------------------------------|---|--|---|
| 1 | 4 | 26 | 長文読解 Lesson 1 Lesson 2 | 資料の読み取り（東京農工大） 大衆文化（和光大） | 設定時間内にまとまった英文を読み、問題に答える習慣をつける。 予習を行い疑問点を整理して授業に臨む。 入試問題を時間内にやり、答え合わせ。 自分の到達度を確認する。 |
| | | | Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 | インタビュー（共立女子大） コミュニケーション（杏林大） 自然環境（金沢工業大） | |
| | 6 | Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8 | 社会生活（明海大） エネルギー（早稲田大） 娯楽（東京工科大） | | |
| | | 7 | Lesson 9 Lesson 10 | 比較文化（跡見学園女子大） エッセイ（広島大） | |
| 2 | 9 | 28 | 長文読解 Lesson 11 Lesson 12 Lesson 13 | 日常生活（早稲田大） 言語（北海道大） 環境論（聖心女子大） | 設定時間内にまとまった英文を読み、問題に答える習慣をつける。 予習をきちんと行い疑問点を整理して授業に臨む。 入試問題を時間内にやり、答え合わせ。 自分の到達度を確認する。 |
| | | | Lesson 14 Lesson 15 | ノンフィクション（法政大） 日本文化（武蔵大） | |
| | 11 | Lesson 16 Lesson 17 Lesson 18 | 健康・医学（法政大） 教育（お茶の水女子大） 政治（一） | | |
| | | 12 | Lesson 19 Lesson 20 | 産業（一） 科学技術（岩手大） | |
| 3 | 1 | 2 | 過去問演習 | 各大学の入試問題に挑戦 | 入試問題を時間内にやり、答え合わせ。 自分の到達度を確認する。 |

| | | | |
|---------|---|------|---------|
| 科目（講座名） | 英語表現 I（英語標準） | 2 単位 | 自由/必修選択 |
| 副教材 | Sonic reading〔桐原書店〕 CLOVER[chart institute] The reflex〔桐原書店〕 Scramble[旺文社] | | |

学習の目標

中堅大学レベルの大学受験に必要な語彙力，文法力を身につける。

授業内容

・文法・語法は1学期に中学校からの総復習を行い、2学期は入試問題に取り組み、各自で復習・確認をする。

学習方法

・文法・語法： 予習をしっかりと授業に臨む。授業後は復習も行う。
必要に応じて自分で調べ，なぜその答になるのかを理解する。

評価の観点

| | |
|-----------------|--|
| 関心・意欲・態度 | 英語に興味・関心をもち，積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとしている。 |
| 表現の能力 | 幅広い話題について，情報や考えなど伝えたいことを整理して英語で話したり，書いたりして表現できる。 |
| 理解の能力 | 幅広い話題について英語を聞いたり読んだりして，情報や考えなど相手が伝えようとすることを整理して理解する。センターレベルの文法・語法が身につけている。 |
| 言語や文化についての知識・理解 | 幅広い話題についての英語の学習を通して，言語やその運用についての知識を身に付けるとともに，その背景にある文化などを理解している。 |

評価方法

中間考査，期末考査，小テストの成績，授業に取り組む姿勢・態度，課題の提出状況，出席状況などを元に総合的に評価する。なお，年度末に1学期，2学期，3学期の成績を総合して，5～1の5段階で年間の評価を行う。

年間計画

| 学期 | 月 | 配 当 時 間 | 単元 | 学習内容 | 学習上の留意点 |
|----|---------------------------------|------------------|--|---|---|
| 1 | 4 5 6 7 | 2 6 | Sonic 読解/Clover 文法 Lesson 1/L1,2 Lesson 2/L3,4 Lesson 3/L5,6 Lesson 4/7,8 Lesson 5/L9,10 Lesson 6/L11,12 Lesson 7/L13,14 Lesson 8/L15 1 学期の復習 | 読解) L1 会話 友達のおしゃべり L2 評論 ポストンマラソン L3 評論国語 教育 L4 評論ジャマイカ L5 評論大人/子 供の質問 L6 レストランでの会話 L7 エ ッセイ L8 エッセイ成功への鍵 文法) L1 仮定法、完了形 L2 関係疑問、 否定、不定詞 L3 分詞、協調構文 L4 使 役動詞等 L5 不定詞 L6 分詞構文 L7 部 分否定 L8 形容詞 L9 名詞 L10 比較 L11 接続詞 L12 仮定法 L13 集合名詞 L14 完了進行形 L15 二重否定 | 設定時間内にまとまっ た英文を読み、解答す る習慣をつける。 予習をきちんと行い、 疑問点を整理して授業 に臨む。 基本的な文法問題を時 間内に解き、足りない 点を確認する。 |
| 2 | 9 10 11 12 | 2 8 | 読解 Lesson9/文法 Reflex Lesson 10/Unit1,2 Lesson 11/Unit3,4 Lesson 12/Unit5,6 Lesson13/Unit7,8 Lesson14/Unit9,10 Lesson15/Unit11,12 Lesson16/Unit13,14 Lesson17/Unit15,16 Lesson18/Unit17,18 Lesson19/Unit19,20 復習 | 読解) L9 自然科学オウム、L10 エッセイ 4 姉妹の同窓会 L11 人文旅行の歴史 L12 会話 タクシーの中で L13 社会 ウォー キング L14 人文 芸術の価値 L15 人文 良いコミュニケーション L16 エッセイ ママの挑戦 L17 会話ホームステイ先にて L18 テーマ 運転手の携帯電話 L19 物語 落ちる星を見つけて 文法) 時制、態、助動詞、不定詞と動名詞、不定 詞、動名詞、分詞、動詞、熟語、仮定法、 比較、代名詞、語法、熟語、会話①、関係 詞、接続詞、疑問と否定、名詞と冠詞、熟 語等 | 設定時間内にまとまっ た英文を読み、解答す る習慣をつける。 予習をきちんと行い、 疑問点を整理して授業 に臨む。 入試問題を解き、答え 合わせをする。 自分の到達度を確認す る。 |
| 3 | 1 | 2 | 過去問演習 | 各大学の入試問題に挑戦 | 入試問題を解き、答え 合わせをする。 自分の到達度を確認す る。 |